

目 次

名東福祉会のミッション	2
事業機構	3
法人事業報告	4
デイセンター事業報告	9
メイトウ・ワークス	10
天白ワークス	17
はまなす	22
グループホーム事業報告	27
こいけホーム	28
天白ホーム	30

名東福祉会のミッション

● 名東福祉会のミッション（使命）

名東福祉会の使命は、東部名古屋地域の知的障害者ケアと、知的障害者ケアに関するあらゆるサービスを提供することを目的とする。

名東福祉会は知的障害者エンパワーメントの理念のもと、名古屋市東部地域において、知的障害者のための継続的ケアを提供し、利用者の自由と自立の実現をめざす。

● 福祉サービスの基本的考え方

（１）生命の安全と健康

- ・命を最優先した福祉サービスを提供する。
- ・利用者が可能な限り健康を維持・増進することができるように支援する。
- ・提供サービスの質を向上させるためにリスクマネジメントを行う。

（２）自己決定の支援

- ・地域に福祉団体と人の支援ネットワークを形成し、多様なプログラムによって利用者の生活を支える。
- ・生活スタイルを自ら選択することができるように支援する。
- ・利用者とその家族が設定した目標の実現に向けて多角的な支援を行う。
- ・利用者のニーズにあったプログラムの選択が可能なように柔軟な対応を実現する。

（３）個別エンパワーメント計画（ＩＥＰ）にもとづいた処遇

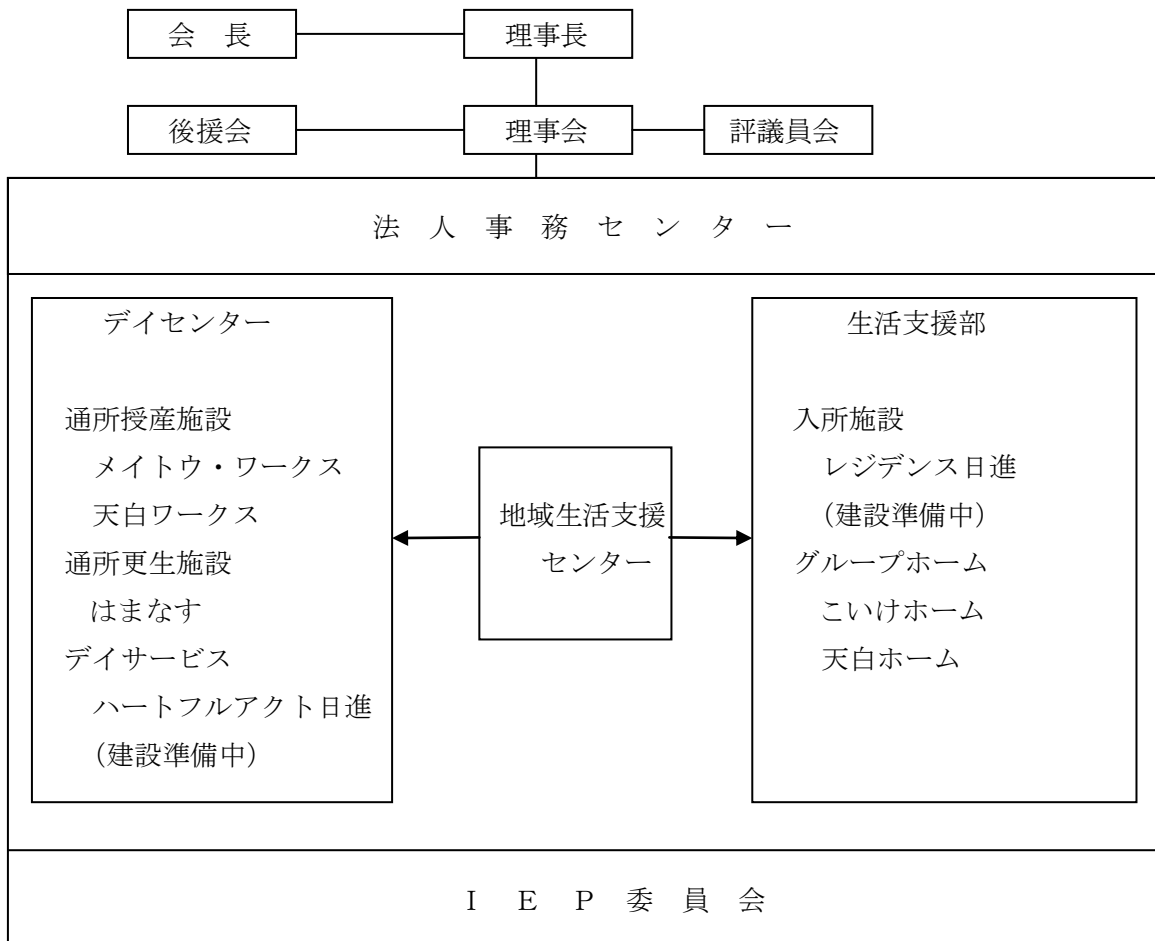
- ・施設の運営方針と利用者のニーズに基づき、ニーズを満たすために必要なＩＥＰを立案する。
- ・個別福祉サービス計画の立案にあたっては、できる限り利用者本人・利用者の家族または親権者・知的障害者福祉に関わる専門家とともにこれを作成し、提供されるべき個別福祉サービスを決定し、利用者、家族、職員、地域社会相互の満足を実現する。
- ・ＩＥＰによって設定された目標の達成度を常にチェックする。

（４）提供サービスの妥当性の確保

- ・利用者の権利を護るため自己チェック体制を整える。
- ・利用者とその家族がいつでも正当な権利を行使することができるようにサービスのあり方を常に見直す。
- ・情報公開に努める。

事業機構

1. 機構図



2. 職員構成 計42名 (兼務1名)

職名	会長	理事長	施設長	事務員	支援員	調理員
常勤	1	1	3	3	男10 女10	3
非常勤					男5 女3	3

法人事業報告

法 人 事 業

1. 法人事務センター

法人・各事業所事務の集中管理機関。

支援費制度への移行に向けて、新会計基準へシステム変更した。本年度決算は巻末資料参照。

2. 生活支援部

利用者の「暮らし」の部分のサポートを検討する機関。特に法人が所有する2ヶ所のグループホーム運営の調整・改善を目的とする。

本年度は、グループホームを退去した利用者の生活基盤の確保、新規就職された利用者の生活の安定を中心とした支援をおこなった。

3. 名東区障害者地域生活支援センター「アクセス」

在宅障害者とその家族の地域生活の支援を目的に、名古屋市の委託を受けて平成14年4月に設置。

相談支援やサービスの斡旋を行うと共に、ケアマネージメント技術の向上に努めた。

区分	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月
地域支援	103	1	3	4	8	4	10
来 所	46	1	3	4	8	4	3
電 話	53	0	0	0	0	0	7
訪 問	4	0	0	0	0	0	0
訪問支援	4	0	0	0	3	0	0
指導・訓練	2	0	0	0	2	0	0
ケア計画	2	0	0	0	1	0	0
申請代行	0	0	0	0	0	0	0
外来支援	279	20	22	24	34	30	30
施設指導	0	0	0	0	0	0	0
職員指導	0	0	0	0	0	0	0
研修会	0	0	0	0	0	0	0

区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域支援	11	8	10	10	18	16
来所	6	4	3	3	6	1
電話	5	4	7	5	11	14
訪問	0	0	0	2	1	1
訪問支援	0	0	1	0	0	0
指導・訓練	0	0	0	0	0	0
ケア計画	0	0	1	0	0	0
申請代行	0	0	0	0	0	0
外来支援	16	19	19	21	18	21
施設指導	0	0	0	0	0	0
職員指導	0	0	0	0	0	0
研修会	0	0	0	0	0	0

4. IEP委員会

IEPとは Individualized Empowerment Plan の略で、本人の自己決定を尊重した個別支援（エンパワーメント）計画である。IEP委員会は各事業所におけるIEPの妥当性のチェックやツールの標準化、法人職員の支援技術向上のための研究を行う。

今年度は統一した様式により、全法人利用者の状況表や個別支援計画の作成を主導した。また、3件の入所者選考に関するプロセスチェックを行った。

5. 「レジデンス日進」建設

(1) 建設経過

- 8/28 建設業者入札説明会（於 メイトウ・ワークス 食堂）
- 9/12 第1回 入札（於 メイトウ・ワークス 食堂）
- 9/20 第2回 入札（於 障害者スポーツセンター 会議室）
- 10/17 起工式

(2) プログラム開発班

知的障害者入所更生施設「レジデンス日進」の総合的な検討機関。5名のメンバーで定期開催（第2・4火曜日）。

本年度は、9月まで研究チームとしてイメージづくりを中心に活動したが、10月以降、プログラム開発班として開所までのスケジュールを明確にし、レジデンス日進の機能の具体的な内容検討を行った。

6. リスク・マネージメント

利用者個々のニーズに最大限応える上で、事故防止のための取り組みは必要不可欠であるという認識に立ち、法人全体のリスク管理者としてリスク・マネージャーを専任している。全職員からの「ヒヤリ・ハット体験報告書」「事故報告書」によってデータ収集し、SHELモデルを用いた要因分析により、リスク傾向の把握に努めている。

「人間のエラーをフォローするシステム」の開発を目指し、今後は様々な事故防止対応を、法人全体で共有できるようモデル化していくことが課題である。

報告の種類	件数 (%)	分類基準
ヒヤリ	45 件 (60%)	放置することにより事故等につながると思われる
ハット	7 件 (9%)	気になる行為や出来事・改善のアイデアや気づき
事故	22 件 (31%)	すでに発生した怪我やトラブル

要因	件数 (%)	具体例
ソフトウェア	27 件 (27%)	現場の慣習・教育体制・マニュアルの有無など
ハードウェア	5 件 (5%)	建物や設備に関すること
環境	29 件 (28%)	照明や騒音、空間（生活環境）・職員の労働環境など
人	40 件 (40%)	職員の技術や知的、心理的状态・利用者の心身の状態

対応	件数 (%)
施設内で報告し全職員で対応を確認した	38 件 (50%)
具体的環境を整備した（マニュアル作成・掲示・物品移動）	24 件 (32%)
特に対応しなかった	13 件 (18%)

7. 機関紙「WORKS」の発行

法人機関紙「WORKS」を季刊。毎号800部を、利用者・職員・後援会員・関係団体等に配布した。

NO.	発行月	テーマ
88	5月	民間福祉施設運営費補給金の功罪
89	7月	サービスのネットワーキングがレジデンス日進の品質を左右する
90	9月	問題行動の機能的アセスメントとエコロジカルな対応プログラムの作り方
91	11月	障害者ケアマネージメントは21世紀の障害者福祉の主演
92	1月	2003年は障害者福祉大改革の年
93	3月	品質を保ちつつコストダウン クックチルでおいしくて栄養バランスの良い給食を

8. 法人行事

(1) 第 15 回 藤まつり <4/21 (日)・於 天白ワークス>

模擬店、イベント、寄贈品バザー、授産製品の展示販売等を行い、地域交流を図った。

総収入	461,090 円
出店団体数	10 団体
参加ボランティア数	61 名

(2) 第 15 回 合同運動会 <6/29 (土)・於 名東スポーツセンター>

法人利用者や家族、職員約 200 名が参加。施設対抗による各種競技やバンド演奏、全参加者によるフォークダンスなどを内容として実施。

(3) 第 20 回 やきものまつり <11/10 (日)・於 メイトウ・ワークス>

模擬店、イベント、寄贈品バザー、授産製品の展示販売を行い、地域交流を図った。

総収入	1,589,739 円
出店団体数	9 団体
参加ボランティア数	97 名

9. 後援会

法人の事業運営への賛同、支援を目的とした組織。

7/11 (木) 名古屋市障害者スポーツセンターにて平成 14 年度総会を開催した。

総会員数	102 名
家族会会員	82 名
その他の会員	20 名

デイセンター事業報告

メイトウ・ワークス

1. 所在

〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊2-1303

TEL (052)702-2863 FAX (052)701-2079

E-MAIL m-works@se.starcats.ne.jp

2. 利用者の状況（定員 37名）

（1）障害の程度

	重度		中度	軽度	計
	～IQ20	IQ21～35	IQ36～50	IQ51～75	
男	10	3	6	0	19
女	13	5	0	0	18
計	23	8	6	0	37

（2）障害の種別

	自閉症	ダウン症	脳性麻痺	知的障害	計
男	6	2	2	10	19
女	5	3	4	6	18
計	11	5	6	15	37

*「自閉症」には「自閉的傾向」も含む

（3）年齢

	～19歳	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳～	計
男	0	7	11	1	0	0	19
女	0	8	9	1	0	0	18
計	0	15	20	2	0	0	37

3. 職員構成

職種	施設長	事務員	支援員	調理員	医師	計
常勤	1	1	8	1		11
非常勤			3	1	1	5
計	1	1	11	2	1	16

4. 日常プログラム

(1) 作業プログラム

陶芸作業

オリジナルの製品（箸おき、マグネット、一輪挿しなどの小物中心）や注文製品を製作。各地の福祉の店やバザーにて製品を販売。

販売機会を増やし、売上の向上を目指して成果を得た。

愛知万博関連商品の販売に参入した。

縫製作業

オリジナル製品（ぬいぐるみ・ボディスポンジ）を製作。各地の福祉の店やバザーにて製品を販売。保育所などからの直接注文も多い。

生産性の向上を目指し、専門ボランティアの活用、参加利用者の拡大を目指し、成果を得た。

ビーズ作業

オリジナル製品（携帯ストラップ・グラスコードなど）を制作。各地の福祉の店やバザーにて製品を販売。

独立種目となり、作業内容の確立を目指した。

軽作業

水道管部品の組立や亜鉛部品のバリ取りなどの下請作業を実施。

安定したプログラム提供を目指した。また、新規作業の開拓

洗剤詰め作業

台所用液体洗剤の容器詰めやラベル貼りを内容とした下請作業を実施。能力給の支給を目的として、利用者の希望に応じて提供。

能力給の増額を目指し、併用作業の開拓を行った。

年間売上状況

	売上高（前年度）
陶芸	1,340,949 円(1,559,900 円)
縫製	1,029,775 円（804,480 円）
ビーズ	124,864 円
下請	321,687 円（379,263 円）
その他	552,704 円（570,350 円）
計	3,369,979 円(3,313,993 円)

工賃支給

基本給 150 円/日を出席日数に応じて毎月支給。ただし、洗剤詰め作業参加者のみ、出来高を能力給として上乘せ支給。

(2) 散歩プログラム

小グループでのリフレッシュ活動として、作業プログラムと並行して実施。公園での散策やドライブ、公共交通機関の利用など内容は様々で、活動メンバーの好みに応じて企画。

利用者からの高い参加希望に対応できるよう、グループを増やした。

(3) レクリエーションプログラム

毎週金曜日の午後に定期的に実施。

クラブ活動

利用者の選択によるグループ活動。1年間継続して実施。

積極参加を促すため、選択方法の改善、ボランティア活用による個別対応に留意し、成果を得た。

グループ名	回数/年	内容等
バスケットボール	16	障害者スポーツセンターにて技術練習・試合
音楽・ダンス	16	ワークス内にて、練習の成果を地域の方々に発表
創作	16	ワークス内にて、木製模型・ステンシルなど製作
軽スポーツ	16	スポーツセンターにてウォーキング、距離の明示

外部団体の公演

公演団体との打ち合わせを通して、利用者参加型を目指し充実したものとなった。

団体名	実施日	内容等
天白リバーバンド	4/19	オリジナル曲の演奏など
ゆうなの木	5/24	童謡など中心としたコーラス
ポケットの会	7/5・12/25	絵本・歌・ペープサートなど
めいとう朗読グループ	9/6・1/31	絵本・歌・ペープサートなど

季節行事・その他

七夕 (7/5)・クリスマス (12/25)・節分 (1/31)

おやつ作り (3/7・14)

(4) 重度身体障害を伴う利用者のプログラム

3名の利用者を対象に、動作法・機能訓練・音楽鑑賞・地域散策など実施。

5. 諸活動・年間行事

(1) バスハイク

全員参加の屋外活動。年2回実施。

ボランティアの積極活用により、個別対応に努めた。

実施日	行き先	備考
5/15 (水)	東山動植物園	弁当持参・公共交通機関も利用
9/18 (水)	名古屋港水族館	現地にて外食・周辺施設も見学

(2) グループハイク

小グループによる屋外活動。利用者の選択した行き先に基づき、グループ分けを行った。1人1回ずつ、年12回に分けて実施。欠席者等には代替企画を実施(1回)。利用者ひとりひとりに合わせた選択方法に留意した。

小グループの利点を活かし、個別希望に添った活動ができた。

実施日	行き先・企画内容	利用者数(職員数)
4/11 (木)	科学館/名駅方面・公共交通機関を利用	3 (2)
6/18 (火)	施設近郊・ボウリング/カラオケ	2 (1)
7/18 (木)	ラグーナ蒲郡・レジャープール	2 (2)
7/25 (木)	小牧コロナワールド・アニメ映画	2 (1)
8/8 (木)	サンビーチ日光川・レジャープール	2 (2)
9/12 (木)	大府方面・ぶどう狩	2 (1)
10/17 (木)	ラグーナ蒲郡・テーマパーク	3 (2)
11/21 (木)	明治村・公共交通機関を利用	3 (3)
12/3 (火)	長島温泉 湯あみの島	3 (2)
3/5 (水)	南知多方面・いちご狩	3 (2)
3/18 (火)	ヴァージンシネマ名古屋・アニメ映画	3 (4)
3/27 (木)	下呂温泉 水明館	4 (3)
3/31 (月)	木曾三川公園・代替企画	2 (2)

*不参加者 2

(3) 一泊旅行

2グループに分けて実施。費用は利用者実費負担(26,000円)。

車椅子利用者参加時、リフト付観光バスを利用した。

実施日	行き先
5/30(木)・31(金)	奈良公園・ユニバーサルスタジオジャパン (和歌山市 宿泊)
10/3(木)・4(金)	

(4) プール活動

5月～9月にかけて実施。

月別希望制により、利用者の求める参加時期、頻度に応じた実施に心がけた。

活動場所	回数
障害者スポーツセンター内プール	23
香流橋プール	4
日進運動公園内プール	7
計	34

実施月	5月	6月	7月	8月	9月
参加者数	12	18	23	24	20

(5) フットベースボール大会

愛知県知的障害者福祉協会・名古屋市の主催により、11/19(火)鶴舞公園陸上競技場にて実施された大会に参加。

勝敗を意識した競技を通じて、施設間・利用者間の交流を図ることができた。

(6) 御用納めパーティー

12/27(金)利用者の忘年会行事として実施。

(7) 成人式

1/14(火)1名の新成人のお祝いの会を実施。

(8) あおぞら号

名東自動車図書館「あおぞら号」を利用。メイトウ・ワークスが地域の駐車ポイントとなっており、地域交流の機会ともなっている。

年9回実施された。図書館職員による絵本の読み聞かせも、併せて行われた。

6. 食事提供

利用者・職員・ボランティアの昼食を提供。平成14年11月末より、自園調理方式から業者委託によるクックチル方式に変更した。

(1) 健康の増進

年齢・性別・生活強度に応じた適切な食事を提供するため、毎月給食会議を実施し、学習と改善に努めた。

(2) 衛生管理

HACCP採用業者への委託により、衛生管理の徹底に努めた。

(3) 委託業者との連携

給食会議を通して、食事内容や提供方法の意見交換を行い、共同して改善に努めた。

7. 地域交流・支援

(1) ボランティア受け入れ状況

利用者ひとりひとりのニーズに応じたサービスの提供を進めるため、地域ボランティアの受け入れを積極的に行った。日常プログラムから各行事にいたるまで、必要に応じて適切なサポートを受けることができた。特に、サポートの必要な縫製作業については専門ボランティアを募集し、生産性の向上が達成できた。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
日常プログラム	34	42	61	43	26	47
行事等		13		12		9
計	34	55	61	55	26	56

10月	11月	12月	1月	2月	3月
38	37	44	41	38	37
	100				
38	137	44	41	38	37

* 「行事等」

- 5月 バスハイク
- 7月 法人合同運動会
- 8月 サマーボランティア
- 9月 バスハイク
- 11月 フットベースボール大会・やきものまつり

(2) ボランティア情報誌「ハローネットワーク」発行状況

ボランティアを募集すること、またメイトウ・ワークスの活動を地域の方々に知っていただくことを目的として隔月発行。併せて、公共施設などへポスターの掲示も行った。

特に、縫製作業ボランティアの募集に重点を置き、手芸品店舗へポスター掲示を拡大した。

配布先	配布場所（人）数	配布部数	ポスター数
来所ボランティア	60	60	
町内会	4	84	
公共施設	4	120	2
各種店舗	8	40	7
学校	8	12	9
その他		70	
計	84	386	18

(3) 施設開放状況

地域に開かれた施設を目指し、土日祝日や夜間などに施設の開放を行っている。近隣の子ども会や老人クラブ、町内会などが主に利用。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
借用件数	5	2	1	3	4	2

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2	1	2	1	3	4	30

(4) その他

- ・法人所有バスの福祉関係団体への提供
- ・名古屋市厚生院 陶芸教室への講師派遣
- ・中学校からの職場体験、大学や専門学校からの現場実習等受け入れ
- ・名東区手をつなぐ育成会、各養護学校からの実習利用受け入れ
- ・各種地域イベントへの参加

8. 助成事業

中央競馬馬主社会福祉財団からの助成により、ワゴン車1台を購入（12／3納車）。

天白ワークス

1. 所在

〒468-0023 名古屋市天白区御前場町 327 番地

TEL (052)804-5487 FAX (052)804-5416

e-mail t-works@se.starcat.ne.jp

2. 利用者の状況

(1) 障害の程度

	重度		中度	軽度	計
	～ I Q 20	I Q 21～35	I Q 36～50	I Q 51～75	
男	11	8	2	1	22
女	4	8	1		13
計	15	16	3	1	35

(2) 障害の種別

	自閉症	ダウン症	知的障害	計
男	15	2	4	21
女	4	1	9	14
計	19	3	13	35

* 「自閉症」には「自閉的傾向」を含む

(3) 年齢

	～19歳	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳～	計
男		5	13	3			21
女		4	5	4		1	14
計		9	18	7		1	35

3. 職員構成

職種	施設長	支援員	調理員	医師	計
常勤	1	8	1		9
非常勤		4	1	1	7
計	1	12	2	1	16

4. 日常プログラム

(1) 作業プログラム

陶芸プログラム

食卓を彩る「器」を中心に制作。工程は単純で分かりやすい提示を心がけており、利用者のつくりたい物を優先した「選択」も取り入れた展開をしている。

土を触るところから制作、釉掛けまでの幅のあるプログラムの為、多くの方に利用していただくことができた。

クッキープログラム

生地をつくることから、焼成、袋づめまですべての工程を1日で終わらせるシンプルでわかりやすいプログラム。

その日つくる生地や型を選んだり、きれいな色のリボンをかけたりして楽しい雰囲気の中でのお菓子づくりの提供をおこなった。

製パンプログラム

余分な添加物を一切加えず、国産小麦と菜種油を原料にしたこだわりのパン。安心で安全なパンとして、近隣の保育園や老人ホームの給食としても好評。

新規顧客開拓にも力を入れ、2件新規契約することができた。

下請け

利用者にとって行程のはっきりしたわかりやすい作業としての位置づけを目的とし、積極的な環境調整をおこなった。

作業種目として、自動車部品のゴムパッキン型抜き仕上げ、金属ワッシャーの加工準備の2種目を提供。

年間売り上げ状況

	売上高（前年度）
陶芸	485,410 円 (586,710 円)
クッキー	1,004,230 円 (976,071 円)
製パン	2,451,262 円(2,398,538 円)
下請け	314,718 円 (274,333 円)
その他	208,980 円 (172,785 円)
計	4,464,600 円(4,156,516 円)

工賃支給

基本給 100 円／日を出勤日数に応じて毎月支給。

利用者の希望により、特定のプログラムへの参加により能力給を支給。

(2) 散歩プログラム

その日の天候にも左右されるが、徒歩か車を利用して外出。

利用者の気分転換の意味もあるが、健康維持・地域とのふれあいも兼ねている。

水、木曜日の午後には、「選択メニュー」として散歩プログラムを提供した。

5. 諸活動・年間行事

(1) バスハイク

通常活動とは異なるイベントプログラムによる利用者のリフレッシュを目的として第 4 金曜日、年 6 回実施。行き先はニーズに応じて 2 コースを設定。

弁当持参で、移動手段は、マイクロバス、公共交通機関などを利用。3 月には、ボランティアさんにできるだけ参加して頂くことを目的として、浜名湖でのいちご狩りを楽しんだ。

実施日	行き先 A	行き先 B
4 月 26 日 (金)	木下大サーカス	
5 月 24 日 (金)	ブルーボネット	リトルワールド
9 月 27 日 (金)	名古屋港水族館	庄内緑地公園
10 月 25 日 (金)	多度芋ほり園・木曾三川公園	
11 月 22 日 (金)	陶史の森 (土岐市)	河川環境楽園 (岐阜県)
3 月 28 日 (金)	浜名湖いちご狩り	

(2) 一泊旅行

楽しむことを追求したリフレッシュプログラム。利用者個別の希望をより充実させることができるよう 6 コースを設定し、少人数で小回りのきく旅行を実施した。

実施日	行き先
9 月 5 日 (水) ~ 9 月 6 日 (木)	岐阜・富山：飛騨高山、立山 愛知：伊良湖、ラグーナ蒲郡
10 月 3 日 (水) ~ 10 月 4 日 (木)	山梨：野辺山、清里 大阪：USJ、海遊館
10 月 31 日 (水) ~ 11 月 1 日 (木)	長野：信州蓼科高原 京都：市内観光

(3) プール活動

季節感のあるレクリエーションをゆったりと楽しんでもらえるよう、名東スポーツセンターを利用し時期を6～7月に設定。

1人1回の提供だが、回を重ねることでリラックスして水に入ることができる利用者が増えてきている。

体調などによりプール活動を利用しない場合は、代替の活動として卓球を提示した。

(4) ボランティアパーティー

12月2日(月)実施。

年に一度、日ごろ天白ワークスで活躍されているボランティアさんに集まっていたき、ゲームや公園で焼き芋をしたりすることにより、利用者および他のボランティアグループの皆さんとの交流を図った。

(5) 家族交流会

11月12日(火)実施。

利用者・家族・ボランティア・職員の交流を目的とした企画。参加ボランティアは6名。行き先は天竜峡りんご狩り、伊那谷道中。

6. 食事提供

施設内厨房にて、毎日利用者・職員・ボランティアの昼食を調理し、提供している。

各利用者ごとに盛りきり方式で提供しているが、適温での提供を目指し、テーブルごとにおひつ(ご飯)や小鍋(汁物)を用意し、入場してから必要な量を盛るように配慮している。また、個々のニーズ(健康上の理由・好き嫌いの理由)に合わせ、分量や刻み方に工夫している。選択メニューなども導入し、利用者の好みを反映するようにしている。

7. 地域交流

(1) ボランティアの受け入れ

日常プログラムの参加を中心に、利用者との関わりはもとより、より多くの人に認知してもらえるように門戸を広げ、気軽に楽しく参加していただけるように心がけている。現在では、長期にわたって継続して参加される方が増えている。

- ・ 日常プログラム参加

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	26	18	24	19	15	19	29	17	17	16	22	24

- ・ ヘア・カットボランティア
レイナ美容室の方を中心に 2～3 名で月に一回出張していただいている。
「藤まつり」(4 月) 参加者：69 名
- ・ サマーボランティアスクール (天白区社会福祉協議会)：12 名
- ・ 東海学園大学の学生が随時参加

(2) 陶芸教室

- ・ 出張陶芸教室：特別養護老人ホーム極楽苑へ利用者とともに出かけに行き、陶芸教室を開くことで、高齢者との交流を図った。(年間 11 回)
- ・ 地域陶芸教室：土の子クラブ(年金受給者のグループ活動)は月 2 回天白ワークスを陶芸教室として利用。その他地域の子ども会も不定期に利用あり。

(3) その他

- ・ 地域療育相談事業
- ・ 市内中学校「職場体験実習」の受け入れ：23 名
城山中 (5)、滝ノ水中 (9)、久方中 (4)、天白中 (5)
- ・ 東海学園大学「人間共生論」ゼミ：23 名
- ・ 愛知淑徳大学「教員免許特例法による介護等体験」：10 名
- ・ 東海医療福祉専門学校「社会福祉援助技術現場実習」：4 名

はまなす

1. 所在

〒465-0054 名古屋市名東区高針台 1-911

TEL (052)704-7551 FAX (052)704-7552

E-MAIL hamanasu@se.starcats.ne.jp

2. 利用者の状況（定員 30名：地域協定による定員 20名）

（1）障害の程度

	重度		中度	軽度	計
	～IQ20	IQ21～35	IQ36～50	IQ51～75	
男	5	8	1		14
女	4	2			6
計	9	10	1		20

（2）障害の種別

	自閉症	ダウン症	脳性麻痺	知的障害	計
男	6	3	1	4	14
女		2	3	1	6
計	6	5	4	5	20

*「自閉症」には「自閉的傾向」も含む

（3）年齢

	～19歳	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳～	計
男	1	7	6				14
女	1	5					6
計	2	12	6				20

3. 職員構成

職種	施設長	事務員	支援員	調理員	医師	計
常勤	1	1	4	1		7
非常勤			2	1	1	4
計	1	1	6	2	1	11

4. 日常プログラム

(1) 作業プログラム

ゴム作業

各種パッキンの枠はがし、袋詰めをする作業。

ポケットティッシュ袋詰め作業

各種手提げカバン、ポケットティッシュの検品、袋詰めをする下請け作業。

クッキー作業

自主製品。施設内にて型抜き、焼成、袋詰めなどを行う。

年間売上状況

	売上高（前年度）
下請け	206,364 円 (196,123 円)
クッキー	256,455 円 (141,535 円)
計	462,819 円 (337,658 円)

(2) 散歩プログラム

小グループでのリフレッシュ活動として、作業プログラムと並行して実施。

公園での散策やショッピング、文化施設の利用など内容は様々で、活動メンバーの好みに応じて企画。

<活動場所>

公 園			
県緑化センター	6 3	三好ヶ丘緑地	5
昭和の森	4 0	松平東照宮	5
春日井緑化センター	3 4	色金山歴史公園	4
洲原公園	3 3	市民四季の森	4
愛知健康の森	3 0	長久手古戦場	4
鞍が池公園	2 8	鶴舞公園	3
森林公園	2 3	日進運動公園	3
豊田スタジアム	2 3	二村山	3
東谷山フルーツパーク	2 2	落合公園	3
大府みどり公園	1 3	豊田市緑化センター	3
かさほら潮見の森	1 2	大蔵池公園	3
名古屋市農業センター	1 2	三好公園	3

牧野が池緑地	1 1	亀城公園	3
木瀬ダム	1 1	棒の手ふれあい広場	3
東山動植物公園	1 0	下水道公園	3
大針中央公園	9	エアフロントオアシス	3
岩屋堂	8	動物愛護センター	3
大高緑地公園	8	平戸橋いこいの家	2
天白公園	8	東谷山	2
愛知牧場	8	滝の水公園	2
小幡緑地公園	7	杵ヶ池公園	2
貴船公園	7	細口池公園	2
定光寺	6	二子山公園	2
猿投神社	6	名城公園	1
豊田運動公園	5	岩津天神	1
豊田スポーツセンター	5	など	
ショッピングセンター		文化施設	
ジャスコ三好店	4 4	スカイワード旭	3 6
アピタ長久手店	2 0	豊田地域文化広場	2 1
ジャスコ守山店	9	豊田消防本部	1 3
ダイエー名古屋東店	7	レトロ電車博物館	6
ロックタウン刈谷	7	鞍が池トヨタ博物館	4
アピタ緑店	6	トヨタ会館	4
ユニー香久山店	4	名古屋港水族館	3
イトーヨーカドー尾張旭店	1	豊明消防署	3
アピタ守山店	1	市スポーツ振興会館	2
西友高針店	1	フロール美術館	2
メイトピア	1	豊田市交通公園	2
など		など	

(3) レクリエーションプログラム

名東図書館	年 20回	2週間に1回、図書館を利用
プール活動	年 20回	週1回、自閉症の方を中心に障害者スポーツセンターを利用
バスケットボール	年 12回	障害者スポーツセンター体育室を利用
フロール展	年 1回	絵画・陶芸品の出展
陶芸	年 3回	天白ワークス利用

あおぞら号	年 7回	名東自動車図書館「あおぞら号」利用
カラオケ	年 5回	小グループにて最寄のカラオケ店を利用

5. 諸活動・年間行事

(1) バスハイク

全員参加の屋外活動、年6回実施。

実施日	行き先
4 / 12 (金)	犬山モンキーパーク
5 / 10 (金)	名古屋港水族館
6 / 14 (金)	名古屋港水族館
9 / 12 (金)	明石公園
10 / 11 (金)	リトルワールド
3 / 14 (金)	イチゴ狩り・半田空の科学館

(2) 一泊旅行

5グループに分かれて、それぞれ行き先・活動など利用者の希望を取り入れる。

費用は利用者負担 (20,000 円以内)。

実施日	行き先	宿泊先	利用者数 (職員数)
5 / 16 (木) ～ 17 (金)	エスパルズドリームプラザ・ 海洋科学博物館 他	松原荘ホテル (清水)	4 (2)
7 / 18 (木) ～ 19 (金)	諏訪湖・ 白樺湖ファミリーランド 他	池の平ホテル (白樺湖)	4 (2)
9 / 5 (木) ～ 6 (金)	河口湖・ 富士サファリパーク 他	河口湖第一ホテル (河口湖)	4 (2)
10 / 3 (木) ～ 4 (金)	キリンビール北陸工場・ 加賀百万石時代村 他	白鳥路ホテル (金沢)	4 (3)
10 / 17 (木) ～ 18 (金)	富士急ハイランド・ 富士サファリパーク 他	美富士園 (河口湖)	3 (3)

(3) グループハイク (テーブルマナー)

4グループに分かれ、外食を目的とし、それぞれの行き先・活動など利用者の希望を取り入れる。

実施日	行き先	利用者数（職員数）
12 / 4（水）	アソビックスあさひ	5（3）
12 / 10（火）	稲武温泉「どんぐりの湯」	4（2）
12 / 13（金）	ラグーナ蒲郡	6（3）
12 / 19（木）	竹島水族館・ホテル竹島	5（3）

（4） 年末パーティー

12 / 27（金）利用者の忘年会として施設内にて実施。

（5） 合同新年会・成人式

1 / 17（金）家族会と合同行事で、豊橋シーパレスリゾートにて食事会を行う。
第2部として、午後から新成人（1名）のお祝い会を実施。

（6） プール活動

7月中旬から8月下旬にかけて、全員を対象に実施。日進運動公園内プールもしくは障害者スポーツセンターのプールを利用する。

6. 食事提供

施設内厨房にて利用者・職員の昼食を調理し、適温での提供を心がけた。

- ・利用者個々に合わせた食事量の提供に努めた。
- ・重度身体障害を伴う利用者には、きざみ食を提供した。
- ・月1回、選択メニューを実施した。
- ・何種類かのドレッシングから、味付けが選択

グループホーム事業報告

こいけホーム

1. 所在

〒465-0047 名古屋市名東区小池町 468-1

TEL/FAX (052)777-8385

2. 入居者の状況

4名（女性） 就職者3名 天白ワークス利用者1名

3. 職員の状況

管理者1名（常勤職員）

サービス提供責任者1名（常勤職員）

バックアップ職員（法人職員）

4. 生活モデル

時間	平日
6:00am	起床
7:30am～	出勤 施設・企業など
5:00～6:30pm	帰宅
6:30pm	夕食 入浴 就寝

5. 職員の役割

- (1) 利用者に対する相談（日中活動報告中心）
- (2) 食事の提供（朝夕の食事）
- (3) 健康管理（安定した食事提供／体重測定／病院付き添い）
- (4) 金銭管理の援助（こづかい帳の計算）
- (5) 余暇活動の支援（テレビ中心）
- (6) 緊急時の対応（バックアップ施設等への報告）

6. その他

(1) 建物状況

所有状況	賃貸物件
構造	鉄筋コンクリート造3階建てマンション
建築日	昭和62年築
使用部分	2階

(2) 運営開始年月日

平成11年 4月 1日

天白ホーム

1. 所在

〒468-0021 名古屋市天白区平針字大根ヶ越 141-3

TEL/FAX (052)807-1578

2. 入居者の状況

4名（男性） メイトウ・ワークス利用者1名 天白ワークス利用者3名

3. 職員の状況

管理者1名（常勤職員）

サービス提供責任者1名（常勤職員）

バックアップ職員（法人職員）

4. 生活モデル

平日		休日	
時間	内容	時間	内容
6:30 am	起床・朝食	9:00 am	朝食
8:10 ~	出勤	12:30 pm	昼食
4:30 pm	帰宅	6:00 ~	夕食
	入浴・洗濯	7:00 ~	入浴・洗濯
6:00 ~	夕食	10:00	就寝
	入浴・洗濯		
10:00	就寝		

5. 職員の役割

- (1) 利用者に対する相談（日中活動報告中心）
- (2) 食事の提供（朝夕の食事）
- (3) 健康管理（安定した食事提供／体重測定／病院付き添い）
- (4) 金銭管理の支援（こづかい帳の計算）
- (5) 余暇活動の支援（テレビ中心）
- (6) 緊急時の対応（バックアップ施設等への報告）
- (7) 職場等との連絡・調整（バックアップ施設等への報告）

6. その他

(1) 建物状況

所有状況	賃貸物件
構造	純木造2階建て(5DK)
建築日	昭和39年築

(2) 運営開始年月日

平成13年 3月 1日